

「庁舎建設基本計画(案)」のお知らせ

現在、市では市民に親しまれ、誰もが利用しやすく、機能性を高めた経済的で効率的な庁舎の整備を目指し準備を進めています。平成20年3月から約1年9か月にわたり市民参加による「下野市庁舎建設委員会」での慎重な検討が行われました。更に、平成21年12月に設置された「市議会庁舎建設特別委員会」での承認そして、市民説明会やパブリックコメントにて皆様からのご意見を伺った後、平成22年5月に新庁舎建設の指針となる基本的な考え方を示した「庁舎建設基本構想」の策定となりました。

基本構想に基づき、整備にあたっての基本的なコンセプトやそれを実現するための方策について検討を重ね、市民・来庁者アンケート調査による市民の皆様方からのご協力をいただきながら、このたび、新庁舎のありかたについての基本的な事項を整理した「下野市庁舎建設基本計画(案)」がまとまりましたので、お知らせします。

庁舎基本計画(案)のあらまし

●基本方針

- I 機能性を高めた経済的で効率的な庁舎
- II 誰もが利用しやすい人にやさしい庁舎
- III 市民に親しまれる庁舎

●全体工事費と財源

建設計画地での条件を整理し、現状での試算額は49億5千万円です。財源については、国からの財政支援において有利な合併特例債の有効活用を図り、市の負担をできるだけ少なくします。

| | | |
|--------|-------|---------|
| 総事業費 | | 49億5千万円 |
| (財源内訳) | 合併特例債 | 23億7千万円 |
| | 基金 | 25億円 |
| | 一般財源 | 8千万円 |

●計画地



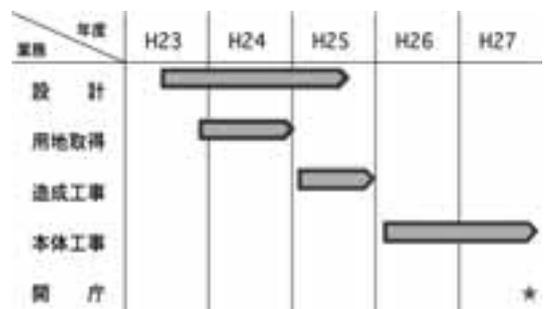
●基本計画の位置づけ



●整備規模

| | |
|-------------------|----------|
| 敷地面積 | 約24,000㎡ |
| 庁舎延床面積 (車庫等含む) | 約10,000㎡ |

●主な整備スケジュール



※基本計画(案)の詳細は市ホームページにて公表しています。

また、国分寺庁舎(庁舎建設準備室)・石橋庁舎(相談室)・南河内庁舎(相談室)においても閲覧できます。